

# リヨウケン沢

上

一九八五年六月二三日

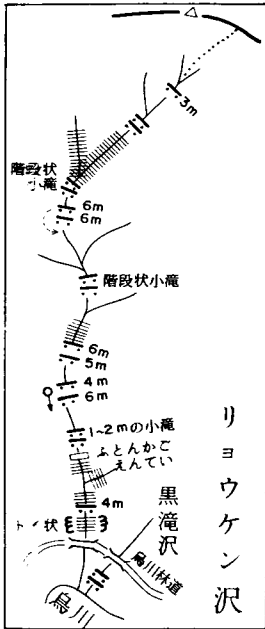
七五七ピーク西方の鞍部からリヨウケン沢への下降に入る。沢に入るまでは急斜面で、立木を利用しながら慎重に下る。

沢に入ると、最初のうちは二〜三

級の小滝、さらには六級の滝と、適当に出現する。階段状なので、クライミングダウンしたり、ブッシュ

を利用したりで、

快調に降りることが出来る。途中六級の滝一本をアップザイレンで下ると、そう大きな滝はなくなる。



リヨウケン沢

倒木にうまった小滝をいくつつか越すと、針金で編んだ網の中に石をためて積んだ「ふとんかこ」堰堤が出てくる。注意して見ないと見逃すほど古い小さな堰堤である。

それを過ぎると、一〜二級のナメ状の小滝が連続する小さなゴルジュ。そしてその先は小滝をいくつつか越し

てトイ状の流れとなる。両足をふんばりながら通過すると、すぐ烏川林道の第四号橋である。

このリヨウケン沢は、沢の長さの割に滝が多く、ほとんどが直登できる。登りの沢として使った方が楽しいのではないかと思う。

(記・)

「タイム」 下降開始(一〇:五五) ↓

第四号橋(一二:五五)

